独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
関東甲信工事局入札監視委員会（第２２回定例会）審議概要

<table>
<tr><td colspan="2">開　催　日　及　び　場　所</td><td colspan="2">令和８年８月２４日（月）　東京工事事務所　５階　会議室</td></tr>
<tr><td colspan="2">委　　員</td><td colspan="2">西村万里子（大学教授）、内田清人（弁護士）、
西岡英俊（大学教授）</td></tr>
<tr><td colspan="2">審　議　対　象　期　間</td><td colspan="2">令和７年１０月１日～令和８年３月３１日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工事</td><td>抽　出　案　件</td><td>件数　　１件</td><td rowspan="7">（備考）</td></tr>
<tr><td>一般競争入札方式
（政府調達協定適用対象）</td><td>中央新幹線、山王川橋りょう</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役務</td><td>抽　出　案　件</td><td>件数　　１件</td></tr>
<tr><td>公募型競争入札方式</td><td>水文調査（中部地区７）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物品等</td><td>抽　出　案　件</td><td>件数　　０件</td></tr>
<tr><td></td><td>※発注なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高落札率契約</td><td>抽　出　案　件</td><td>件数　　０件</td></tr>
<tr><td></td><td>※該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">委員からの意見・質問、それに対する回答等</td><td>意見・質問</td><td>回答</td></tr>
<tr><td colspan="2">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="2">な　　し</td></tr>
</table>

別紙（工事）

	意見・質問	回答
1	**一般競争入札方式（政府調達協定適用対象）** 「中央新幹線、山王川橋りょう」	
	① 入札時ＶＥ提案は技術提案の点数に影響するのか。	① 入札時ＶＥ提案は適切な技術力活用に基づき入札価格の低減を期待するものであるが、技術提案は技術力を評価するものであるため、技術提案の評価には影響しない。
	② 入札時ＶＥ提案の低減額の査定はしているのか。	② 低減額は入札参加者が根拠を提示することになっており、その内容と低減額の妥当性を機構が確認して決定している。妥当性を確認しているが、査定はしていない。
	③ 入札時ＶＥ方式を取り入れた理由は。	③ 大規模工事又は技術的難易度が高いと認められる工事であるため、施工方法の工夫等により入札価格の低減を図る目的で本方式を採用した。
	④ ＪＶ構成員数を３者又は４者とした根拠は。	④ ＪＶ構成については業種や金額などにより標準的な構成員数が決められているが、工事の施工実績を持つ者を増やす目的もあり、諸手続きを踏まえたうえで構成員数を拡大した。
	⑤ 総合評価の技術点はどのように評価されているのか。	⑤ 各参加者から提出された技術提案を５段階で評価し、点数化している。 評価指標は局内でデータベース化しており、統一的な視点で評価している。

別紙（役務）

	意見・質問	回答
1	公募型競争入札方式 「水文調査（中部地区７）」 ① 予定価格の算定にあたり、概算見積を取るなどしたのか。入札参加者はその対象者だったのか。 ② 低入札価格調査ではどのような調査を行い、問題がないと判断したのか。 ③ 発注方式はどう決めているのか。	 ① 概算見積は取っていない。機構の積算要領を使って予定価格を算出している。 ② 入札価格の根拠をヒアリングし調査を行った。当該者は機構発注役務の経験が多分にあるため、現地調査の準備や調査位置の決定及び解析や報告書の作成で人員の低減を図ることができるとのことであった。また、経費の削減額も妥当性があり、問題なく履行できるということを確認した。 ③ 工事・役務の業種区分、金額規模、難易度等に応じて発注方式は決まっており、その中から選択している。

別紙（その他）

	意見・質問	回答
1	**工事、役務、物品等の全体審議** なし	
2	**高落札率契約の全体審議** なし	
3	**一定規模以上の取引関係を有する法人との契約の全体審議** なし	
4	**その他** なし	